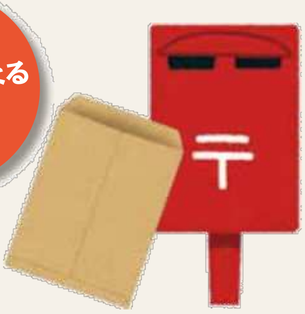
国保
からの
お知らせ

令和2年度

肺がん検診・大腸がん検診・胃がん検診を実施します

簡単な
検体郵送による
自己検診



組合では、組合員及び加入の家族を対象に、下記要領により郵送によるがん検診を実施いたします。定期的に検査を受けることが早期発見・早期治療の決め手となります。自宅で簡単に受診できますので、ご自身の健康状態を把握するためにもぜひこの機会をご利用ください。

実施要領

対象者　組合員及びその家族
＊家族の方は組合の被保険者に限ります。

検診費用　**無料（全額組合負担）**

検診項目

❶ 肺がん検診：喀痰細胞診
（3日分の喀痰を採取）

❷ 大腸がん検診：便検査2日法

❸ 胃がん検診：❶・❷血液検査
＊専用の器具を使い、指先から採血します。
❸便検査

下記項目❶～❸いずれか1つ選択してください。

検査項目	ポイント
❶胃がんリスク	胃がんになるリスク・萎縮性胃炎に至るリスクを知りたい方に推奨
❷ペプシノゲン	胃の粘膜の状態（胃の老化度）を知りたい方・胃粘膜の経年変化を知りたい方に推奨
❸便によるピロリ（便検査1日）	過去ピロリ菌検査（呼気・血液）が陰性だった方・幼少の方（非浸襲性のため）・ご家族に胃の疾患がなくピロリ菌陰性の可能性が高い世代（39歳以下）の方に推奨

申込方法

◆**FAXでお申し込みの方：**別紙の「がん検診申込書」に必要事項を記載し、P29の検査機関にお申し込みください。

◆**郵送でお申し込みの方：**別紙の「がん検診申込書」に必要事項を記載し、その裏面の封筒組立例を参考に組立て、ポストに投函してください。

申込締切日	**令和2年10月末日**（消印有効）
検体返送締切日	**令和2年11月末日**（消印有効） ＊必ず期日までに検体をご返送ください。
検査結果通知	検査結果は約3週間で個人宛に通知されます。 ※異常があった場合には、専門医による精密検査が受けられるよう、適切な指導をいたします。 また、病院紹介・紹介状作成をご希望の方は、下記検査機関にお問い合わせください。

注意 検体返送締切日までに検体を返送されない場合は、自動的にキャンセルされたものとし、**器具代＋手数料**を徴収いたします。

●申し込みから検査結果が届くまで

検査機関

お気軽にお問い合わせください

メスプ細胞検査研究所

- 医療機関紹介
- 紹介状の作成
- 検査へのご質問
- 検査結果へのご質問
- その他

TEL 075-231-2230（平日9:00～17:00）
FAX 075-211-7400
メール　mail@msp-kyoto.co.jp
ホームページ　http://www.msp-kyoto.co.jp

早期発見のための検診。早く見つければ治療が容易。ぜひ定期的な検診を！

すぐに精密検査を受けられた方と、放置された方の3年間の

医療費自己負担額の差は“約100万円!!”

要精密検査の結果を受け取られたら、すぐに病院を受診し、早期発見につとめましょう。

大腸がん検診　早く見つければ見つけるほど治りやすい

大腸がんは　がんの罹患数 **第1位！**
がん死亡原因 女性 **第1位！**
男性 **第3位！**

出典：国立がん研究センター
がん情報サービス（2019）

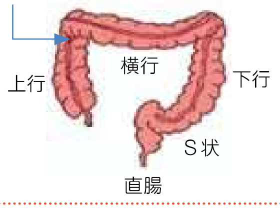
ですが、早期発見！早期治療でほぼ治ります！
自覚症状のない時にこそ、大腸がん検診！

Point

人間ドックや一般の自治体の検査よりさらに精度の高い検査です！
便秘がちな方には特におすすめです！

この検査は一本の採便容器から一般的なヘモグロビンだけでなくトランスフェリンも同時に測定します。特に女性に多い深部大腸の病変（ヘモグロビン陰性がん）の発見に有効です。

トランスフェリンはこの部位に特に有効です。



胃がんリスク検診　ピロリ菌感染が胃がんの主な原因です。

胃がんリスク検診とは

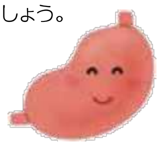
胃がんを引き起こす**「ピロリ菌」感染の有無**と
胃粘膜の萎縮の程度がわかる**ペプシノゲンの値**を調べ、
その組み合わせによって胃の健康度（胃がんリスク度）を層別化する検査です。

ピロリ菌
除菌は早めが
効果的!

あなたの胃の健康度がわかります。

		ピロリ菌検査	
		陰性	陽性
ペプシノゲン検査	陰性	A群	B群
	陽性	C群	

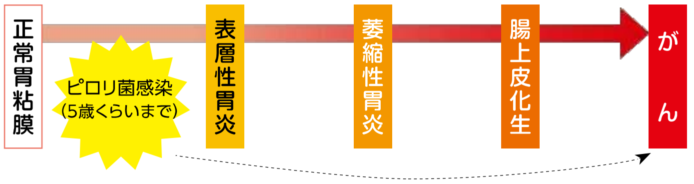
A群
おおむね健康的な胃粘膜です。胃の病気になる危険性は低いと考えられます。自覚症状や気になることがあれば、医療機関を受診しましょう。



B群
少し胃粘膜が弱っています。胃潰瘍・十二指腸潰瘍に注意。胃がんのリスクもあります。ピロリ菌の除菌治療と内視鏡検査を受けましょう。

C群
萎縮の進んだ弱った胃粘膜と考えられます。胃がんになりやすいタイプです。ピロリ菌の除菌治療と定期的な内視鏡検査を受けましょう。

ピロリ菌感染から胃がん発生



ピロリ菌に感染すると、胃の粘膜が萎縮し、潰瘍・がんを引き起こします。

ピロリ菌検査で陽性だったら

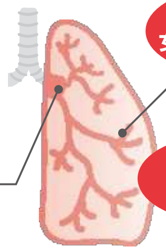
内視鏡検査で胃の状態を確認し、医師の指示により服薬による除菌治療をします。近年、治療薬の変更により**ピロリ菌除菌率が飛躍的に向上**していますので、できるだけ早めに除菌しましょう。

肺がん検診　肺がん検診はあなたを肺がんから守ります。

アレルギー・咳喘息・COPDが気になる人も!

- 胸部レントゲン検査で見つかりにくいタイプのがんに有効です。
- **喀痰細胞診**は、中心型早期肺がんの唯一のスクリーニング方法です。

肺門部・中心型肺がん
喫煙者に多い…せき、痰、血痰などの症状
※**喀痰検査**で発見!
肺が脊柱・心臓に隠れるためレントゲンでは見にくい



若い人、女性にも多い

肺野末梢部がん（腺がん）
初期は無症状
※レントゲン検査で発見（喀痰検査でも発見可能）

近年増加！

肺野末梢部がん（扁平上皮がん）
喫煙だけでなく、拡散している煙等を吸うことでも発生
※喀痰検査で発見!

◎喀痰検査はハイリスク群に特に有効!
- タバコを1日平均20本、30年吸っている人（たくさん吸っている人）喫煙指数600以上
- 6ヶ月以内に血痰のあった人
- 過去に喫煙歴のある人

◎タバコを吸っていない人にも有効です。
- 大気汚染、受動喫煙との関係もあります。
- 治療が必要な肺がん以外の疾患も見つかります。